

愛知県保険医協会 学生会員ニュース No.52

発行：愛知県保険医協会
住所：〒466-8655名古屋市中昭和区妙見町19-2
TEL：052-832-1345 FAX：052-834-3512
ホームページ <https://aichi-hkn.jp/> e-mail aichi-hkn@doc-net.or.jp

【学生会員のみなさんへ】

ようやく過ごしやすい季節がやってきました。今年の夏は本当に暑かったですね、過ごしやすい季節が少しでも長い間続くといいなと思っています。

今回は「医学部入試不正」について、取り上げました。「女子に厳しいと思っていたが、やはり」「落とされた人は人生が変わる。たまらない」等の声が聞かれます。皆さんの感想などお寄せください。

医学部入試、不正発覚から考える ～低い女性医師の割合、徹底した調査と環境整備を～

東京医科大が医学部医学科の一般入試で、女子受験者の得点を一律に減点し不正操作を行っていたことが判明しました。

この問題をきっかけに文部科学省が実施した医学部医学科入試の緊急調査では、約8割の大学で男子の合格率が女子を上回る実態が分かりました。また、同じ調査で東京医科大を除く全ての大学が「不正はない」と答えました。

しかし、医学部以外の学部では、志願者に占める入学者の割合は男女差がないか女子の方が高い傾向にあり、この緊急調査でより疑念が深まったともいえます。

OECD加盟国の女性医師の割合(図1)を見ると、日本が低いということが分かります。OECD加重平均と比べても差があります。

日本で女性医師の割合は、1970年9.5%から2014年20.4%へと増えてはいるものの、医学部入学者・国家試験合格者数に占める女性の割合(図2)をみると、この間30~35%で推移し比率の伸びが止まっていることが分かります。これには女性への差別が影響することが考えられます。

文科省は今後、各大学に改めて問い合わせたり、個別に訪問調査したりして不正の有無を調査する予定としていますが、どこまで真相に迫れるかは未知数となっています。徹底

図1 OECD加盟国の女性医師の割合 OECD Health Statistics 2015

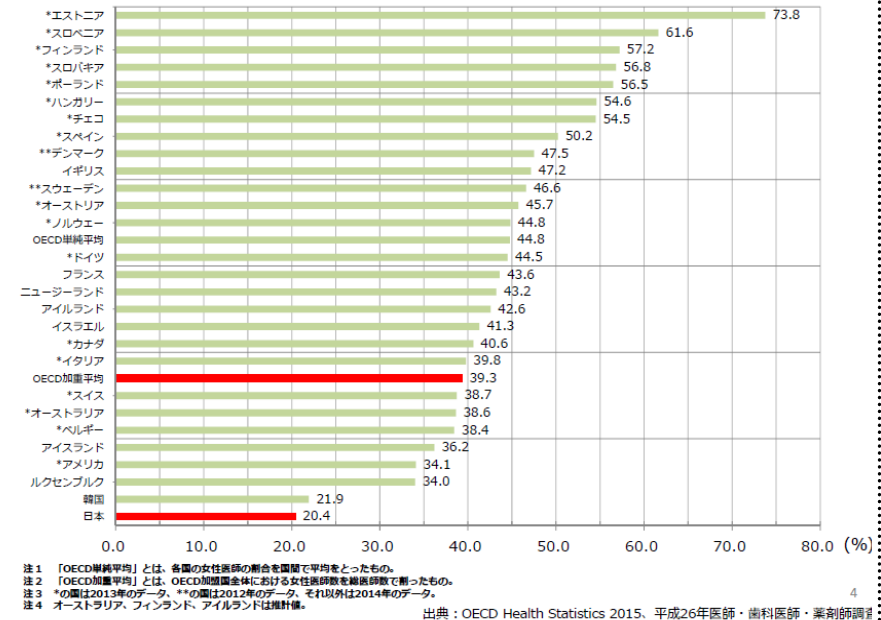
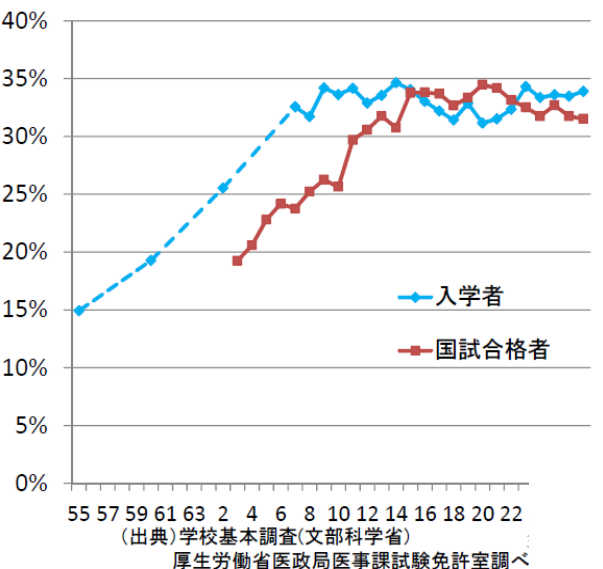


図2 医学部入学者・国家試験合格者数に占める女性の割合



した調査が求められます。

今回、東京医科大で女子だけ減点されていた理由について、「女性は結婚や出産を機に職場を離れるケースが多いため、医師不足を回避する目的があった」と内部調査委員会で述べられています。しかし、女性医師が出産・育児で離職する現実があるならば、出産・育児と仕事を両立できる環境の整備や、女性に家事や育児の負担が偏っている現状の改善が必要であり、女性医師の数を抑えて対処するというのは筋違いと言えます。また、女性医師が出産・育児で離職せざるを得ない背景には、長時間労働など医師全般の過酷な働き方にあることは明白です。



医師を志す女性を差別し、女性だからという理由で人生の重要な選択肢が狭められることは絶対に許されません。

保険医協会として、政府がこの緊急調査で終わらせず、徹底した調査を行うこと、また医師数増など根本的な解決策をもって、男女とも医師として人間らしく働き続けられる環境整備を進めることを求めています。

FAX : 052-834-3512

E-mail : aichi-hkn@doc-net.or.jp

お名前	
ご連絡先	住所 TEL 又は E-mail
◎ご意見・質問、取り上げて欲しい話題等、ぜひなんでもご記入ください。	